

(令和3年 4月19日)

< ワンポイントレッスン (実践) >
(収束度指数)

マーケット・タイミングは、底値圏、高値(過熱)圏であるか否かを高い確率で捉えられるようにとのアプローチですが、加えて収束度もそのテーマの一つです。過度の方向感のない状態はいずれ大きく方向感をもった動きになるのではないかと、オプション・ストラテジーのひとつ、「ストラドルの買い」などのタイミングをうまく捉えたい…の目的からスタートしました。収束の度合いを感覚的に捉えることはできるのですが、数値化した方が判り易いといったところです。まだ、パイプライン…フォワードテストの段階です。短期、中期、長期の3種類でトレースしています。

(収束度指数・週足)



All Copyright © ゴールデン・チャート社

現状は、グラフ下段の短期(赤の折れ線グラフ)が要トレースゾーンに入っていますが、緑(中期)・黒(長期)は未だゾーン内に到達していません。ボトム圏、高値圏指標と異なり保合いの行き過ぎを表すので基本動き出した方向に順張りですが、少し間をおいて大きく反転することもあり、この点については要注意です。

(了)